

空き家対策の状況について

- 1 空き家の相談、調査、危険空き家等の状況について
 - (1) まちづくり委員会による空き家調査結果
 - ・空き家として報告のあった戸数：1,816戸
良好319戸（17.6％）ふつう850戸（46.8％）傷みあり393戸（21.6％）
傷み激しい178戸（9.8％）不明（記載なし）76戸（4.2％）
 - ・まちづくり委員会の調査で「傷みがはげしい」とされた空き家で、これまでに詳細調査が未調査空き家67戸について詳細調査実施。（平成29年3月末完了予定）
 - ・報告のあった空き家について、所有者等を調査中。
 - (2) 危険空き家の解体等の状況
 - ・平成24年以降詳細調査結果でSランクAランクとされた空き家122戸。
 - ・上記122戸の内、平成24年から平成29年2月17日までに解体または安全措置が取られたことが把握できた空き家は28戸。（解体23戸）
 - (3) 平成28年4月からこれまでに市に寄せられた相談件数について（匿名等所在や相談者が特定できないため記録できなかった案件を除く。）
 - ・空き家の所有者、周辺の方から相談があった空き家107戸。内賃貸、売却等利活用に関する相談40戸。管理不全等に関する相談67戸。
 - ・他に市内外から空き家を借りたい、購入したいという利活用の相談29人。
 - ・管理不全等に関する67戸の内、所有者等が特定された28戸に文書送付し面談等実施。内安全措置、除草等管理不全が解消した空き家7戸。残り21戸については、引き続き所有者に適正な管理を要請中。
 - ・管理不全の空き家所有者等が特定できないまたは、所在不明で連絡等ができない39戸については、引き続き所有者等の調査を継続。
- 2 空き家の適正管理等の啓発について
 - (1) 啓発文の送付

家屋敷課税対象には空き家が含まれることから、空き家の適正管理についての啓発文を家屋敷課税の納税通知に同封。（発送数503件）

注）家屋敷課税：飯田市に住所がない方で飯田市内に事業所、営業所及び店舗又は家屋敷を所有し、又は借りている方に住民税の均等割りを課税。
 - (2) 市広報での啓発について（各広報に反応した問い合わせ1件から3件）
 - 7月1日号「空き家管理と空き家バンク登録について」
 - 9月1日号「空き家バンクに係る補助金について」
 - 9月15日号「空き家を狙った空き巣について」
 - (3) 空き家適正管理のパンフレット組合回覧（10月）
 - (4) 空き家に関する説明会等
 - 5月12日 対象：宅建協会（空き家バンクについて）
 - 7月20日 対象：橋北まちづくり委員会（飯田市の空き家対策について）
 - 9月9日 対象：龍江地域づくり委員会（飯田市の空き家対策、空き家バンク補助金について）

3 空き家の利活用について

(1) 飯田市空家情報バンク制度の状況

- ・平成28年5月31日一般社団法人長野県宅地建物取引業協会南信支部飯伊不動産組合と一般社団法人長野県建築士会飯伊支部と飯田市空家情報バンク制度に基づく協定を締結し、空き家バンクの運営を開始。
- ・平成29年2月17日現在空き家バンクに登録されている空き家は8戸（これまでに空き家バンクに登録となった空き家11戸、内2戸成約、1戸取り下げ。）
- ・空き家利用登録者14人。（内成約2人。）
- ・登録空き家の情報に関して記載データを充実。
- ・空き家改修補助事業1名予定（事業費1,200,000円補助率1/2補助額上限30万円）
- ・空き家環境整備補助事業1名予定（事業費290,000円補助率1/2補助額上限10万円）

(2) 空き家無料相談会の開催

- ・空き家の住宅診断、改修の相談に応じるため一般社団法人長野県建築士会飯伊支部の協力により平成28年12月から毎月5日午後、空き家の無料相談会を開催。
- ・12月、1月、2月の無料相談会利用件数は0件。

4 平成28年度 空き家等対策支援事業（補助率10/10）

- ・三穂まちづくり委員会：空き家を活用した農家レストランに関する視察（事業費：50,000円、補助額：45,000円）
- ・千代地区まちづくり委員会：独居及び高齢世帯の意向調査、古民家再生等空き家の活用座談会（事業費：300,000円、補助額：300,000円）
- ・龍江地域づくり委員会：空き家等の地域資源活用の講演会、空き家所有者の意向調査（事業費：295,000円、補助額：295,000円）

5 平成29年度の予定

- (1) まちづくり委員会から報告のあった空き家について所有者等調査し空き家データベースの充実を図る。
- (2) 「傷みあり」「傷みが激しい」との報告があった空き家およそ400戸の詳細調査を実施。（予算額3,234千円）
- (3) 臨時職員1名新規増員予定。
- (4) 空き家の利活用の促進について
 - ・建築士会の無料相談会を継続。（予算額24万円）
 - ・飯田市空家情報バンク登録物件の登録前調査を宅建協会に依頼し空き家バンク登録物件の拡充を図る。（予算額30万円）
 - ・各地区まちづくり委員会が取り組む空き家等対策事業を継続。（予算額90万円）
 - ・飯田市空家情報バンクの登録物件の件数及び成約を促進するため、空き家改修補助事業（補助率1/2上限30万円）、空き家環境整備補助事業（補助率1/2上限10万円）（予算額350万円）を継続。
- (5) 危険空き家の解体支援についてどのような方法が良いのか先進事例等を研究する。